

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年4月20日～2017年4月26日)

平成 29 年(2017 年)4 月 28 日

| H  | E | A | D | L | I | N | E | S  |
|--|---|---|---|---|---|---|---|--|
| <p><b>政治</b></p> <p>政府専用機墜落事故調査小委員会のベルチンスキ委員長の辞任<br/>                 最大野党・市民プラットフォーム、世論調査の1つにて与党「法と正義」を上回る支持率を獲得<br/>                 シドゥウォ首相、全閣僚及び副大臣との会合を主催<br/>                 ポーランド・米外相会談<br/>                 バルニエ欧州委員会BREXIT首席交渉官のポーランド訪問<br/>                 国防省、豪に中古艦購入の調査書を送付と発表<br/>                 ライアン米下院議長のポーランド訪問<br/>                 デービス英国EU離脱担当大臣のポーランド訪問<br/>                 参謀本部高官、国連休戦委員会高官と意見交換<br/>                 統合全般司令官、欧州米陸軍副司令官と意見交換<br/>                 ポーランド・独首相会談<br/>                 ウクライナでのOSCE監視団員の死傷に関する外務省声明<br/>                 ポーランド・トルコ首脳電話会談<br/>                 国防省、2030年までに国防費を2.5%に増額予定と発表<br/>                 サイバー演習開始<br/>                 F-16をバルト領空監視ミッションに派遣<br/>                 国防省高官、高校等の授業に入隊前訓練を導入と発言<br/>                 露国防相、ポーランドは不安定要因と発言<br/>                 参謀本部高官、第3回北方グループ幕僚会合に参加<br/>                 ポーランドの造船所、スウェーデン防衛企業と情報収集艦建造に合意<br/>                 国防大臣、EU国防大臣会議に参加</p> |   |   |   |   |   |   |   | <p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！<br/>                 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p> |
| <p><b>経済</b></p> <p>2017-2020年財政計画<br/>                 ハノーヴァー・メッセへのポーランド出展<br/>                 S&amp;Pが経済成長率予測を上方修正<br/>                 ムーディーズが経済成長率予測を上方修正<br/>                 3月の失業率<br/>                 首相がPZU社を監督<br/>                 Tauron・Azoty が石炭ガス化設備導入に合意<br/>                 政府エネルギー計画は秋頃発表か</p>  |   |   |   |   |   |   |   |  |
| <p><b>大使館からのお知らせ</b></p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意<br/>                 パスポートダウンロード申請書のご案内<br/>                 大使館広報文化センター開館時間<br/>                 文化行事・大使館関連行事</p>   |   |   |   |   |   |   |   |  |
| <p>ポーランド日本国大使館<br/>                 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000<a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm">http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</a></p>   |   |   |   |   |   |   |   |  |

## 政 治

## 内 政

政府専用機墜落事故調査小委員会のベルチンスキ委員長の辞任【21日】

21日、スモレンスク政府専用機墜落事故調査小委員会のベルチンスキ委員長が辞表を提出し、マチェレヴィチ国防大臣によって受理された。当地メディアは、辞任理由として、ベルチンスキ前委員長が最近のインタビューにて、自分が(仏製ヘリコプター)カラカルの調達計画を破棄した旨述べたことを指摘している。

最大野党・市民プラットフォーム、世論調査の1つにて与党「法と正義」を上回る支持率を獲得【26日】

26日に発表された世論調査機関 Millward Brown 社による調査結果(対象1,001名)によると、最大野党・市民プラットフォーム(PO)が31%の支持を獲得し、与党「法と正義」(PiS)の29%を上回った。この他の政党については、クキス'15が10%、民主左

翼連合(SLD)が6%、近代が5%の支持を得た。一昨年11月のPiS政権発足以降、各種世論調査ではPiSが一貫して第一位の地位を維持してきたおり、今次結果は注目を集めた。

シドゥウォ首相、全閣僚及び副大臣との会合を主催【26日】

26日、シドゥウォ首相は、全閣僚及び副大臣との会合を主催し、同会合後に、政府は1つのチームであり、規律が重要である、各閣僚は忠誠心を持って自らの言葉に責任を持たなければならない旨述べた。同首相の上記発言は、25日のストウレジンスカ・デジタル化大臣のラジオ番組における政権の福祉政策への批判的な発言等を踏まえて行われた。また、シドゥウォ首相は、噂されている内閣改造を否定した。

## 外交・安全保障

ポーランド・米外相会談【19日】

19日、ワシントンを訪問中のヴァシチコフスキ外相がティラソン米務長官とトランプ政権発足後初の外相会談を行い、二国間関係、NATOを始めとする安全保障分野における協力の展望、エネルギー安全保障及びイノベーションを含む経済関係等につき意見交換した。両外相は、中・東欧地域における安全保障分野の特定課題に関する両国間のハイレベル対話の維持の必要性につき認識を共有した。

バルニエ欧州委員会BREXIT首席交渉官のポーランド訪問【20日】

20日、バルニエ欧州委員会BREXIT首席交渉官が29日の欧州理事会特別会合前にポーランドを訪問し、シドゥウォ首相と会談すると共に下院EU担当委員会の会合に出席し、英国のEU離脱交渉について、いわゆるハードBREXITは全関係者が望む結果をもたらさないと懸念を表し、EUの結束の維持と、不確実な要素を除外しつつ交渉を進めることが成功につながる旨述べた。

国防省、豪に中古艦購入の調査書を送付と発表【20日】

20日、国防省は、オーストラリア国防省に豪軍が保有する中古のアデーレ型フリゲート艦を2隻購入するための調査書を送付したと発表した。

ライアン米下院議長のポーランド訪問【21日】

21日、ドゥダ大統領及びシドゥウォ首相は、ポーランド訪問中のポール・ライアン米下院議長と会談し、二国間関係、欧州安全保障の強化及び地域情勢に関して意見交換した。ライアン下院議長は、ポーランド政府のNATOにおける米国との協力、国防費へのGDP2%割当の実施に対し感謝を表明した。

デービス英国EU離脱担当大臣のポーランド訪問【21日】

21日、デービス英国EU離脱担当大臣は、29日に開催予定の欧州理事会特別会合の前にポーランドを訪問し、モラヴィエツキ副首相、シマンスキ外務副大臣及びカチンスキPiS党首と会談した。会談後にシマンスキ外務副大臣は、EU離脱後の英国がEUと緊密な関係を維持すべきことで意見が一致し、長く難しい交渉になるであろうが、国民の権利及びEU予算への貢献について可能な限り早く合意に達したいと述べた。

参謀本部高官、国連休戦委員会高官と意見交換【21日】

21日、参謀副長シコラ中將は、ポーランド訪問中の国連休戦委員会のジンホ少將と中東欧情勢、朝鮮半島情勢、二国間(ポーランド・韓)防衛協力等について意見交換を行った。

統合全般司令官、欧州米陸軍副司令官と意見交換【21日】

21日、統合全般司令官ミカ少将は、ポーランド訪問中の欧州米陸軍副司令官マクガイヤ少将と部隊展開のノウハウの共有、共同訓練の進展等について意見交換を行った。

#### ポーランド・独首相会談【23日】

23日、シドゥウオ首相が、ドイツ北部で開催されたハノーバー・メッセ産業見本市の開会式にメルケル独首相とともに出席すると共に、同首相と会談を行い、仏大統領選挙及びBREXITを含めた欧州情勢、移民問題及び安全保障を含めた二国間関係について意見交換した。

#### ウクライナでのOSCE監視団員の死傷に関する外務省声明【23日】

23日、ポーランド外務省は、ウクライナOSCE特別監視団(SMM)員1名が犠牲になり2名が負傷した事案に対し、犠牲者の家族に対し哀悼の意を表するとともに、ロシアをはじめとした全ての関係者に対し、ウクライナ・ロシア紛争の解決に向けたプロセスの中で非常に重要な要素であるSMMの安全を保証し、委任された作業が実施できるよう呼び掛ける旨の声明を発表した。

#### ポーランド・トルコ首脳電話会談【24日】

24日、ドゥダ大統領は、エルドアン・トルコ大統領と電話会談し、エルドアン大統領はトルコで実施された憲法改正に関する国民投票の結果及び同国の政治的制度改革計画について説明した。ドゥダ大統領は、本件に関連して、相互尊重及び安全を確保するために、欧州諸国とトルコとの対話及び信頼関係を回復させることが重要であることを強調しつつ、トルコがNATOの義務を履行し、移民危機で欧州と協力することの重要性についても言及した。

#### 国防省、2030年までに国防費を2.5%に増額予定と発表【24日】

24日、国防省は、国防費を2020年までに2.2%に、2030年までに2.5%に増額予定であり、兵力は現役兵13万及び領域防衛部隊の20万人体制とする予定であると発表した。

#### サイバー演習開始【24～28日】

24～28日、サイバー演習・ロックドシールド17はエストニアで開催され、25ヶ国の約800人が参加した。参加国の一部は、ネットワークを介して自国から

参加した。

#### F-16をバルト領空監視ミッションに派遣【24日】

24日、ポーランド軍は、4機のF-16及び人員最大140名をバルト領空監視ミッションの第7次隊に派遣すると発表した。任務期間は5月1日から8月31日までで、オランダ軍から引き継ぎ、米軍に引き継ぐ予定である。派遣費用は800万ズロチを計上している。

#### 国防省高官、高校等の授業に入隊前訓練を導入と発言【25日】

25日、ドヴォルチク国防副大臣は、高校の授業に入隊前訓練を導入予定で、本年9月から、50校が先駆けて同訓練の授業を開始すると述べた。また、同授業のために計100万ズロチの予算を充当すると付言した。

#### 露国防相、ポーランドは不安定要因と発言【25日】

25日、ショイグ・ロシア国防大臣は、第6回モスクワ安全保障会議において、ミサイル防衛システムを配備するルーマニア、ポーランドは、不安定要因であると述べ、NATOの活動に対応するための措置を進めていると発言した。

#### 参謀本部高官、第3回北方グループ幕僚会合に参加【25～26日】

25～26日、参謀副長ジェジツ准将は、スウェーデンで開催された第3回北方グループ幕僚会議に参加し、地域情勢、NATO・EU協力、NATO前方地域プレゼンス強化大隊の訓練等について議論を行った。

#### ポーランドの造船所、スウェーデン防衛企業と情報収集艦建造に合意【26日】

26日、ナウタ造船所は、スウェーデンの防衛企業であるSAAB社と、スウェーデン海軍の情報収集艦建造に合意した。合意の内容は、同造船所が、情報収集艦の建造、装備、初期運航試験を担当し、契約額は、3.2億ズロチになる予定である。

#### 国防大臣、EU国防大臣会議に参加【26～27日】

26～27日、マチェレヴィチ国防大臣は、マルタで開催されたEU国防大臣会合に参加し、シリア情勢、地中海情勢、EU戦闘群等について議論を行った。

## 経 済

### 経済政策

#### 2017-2020年財政計画【25日】

政府は、2017年～2020年までの財政計画を

採択した。2019年と2020年にはGDP成長率を3.9%と予測している。失業率は2017年に5.

7%, 2018年に5%, 2020年に4%, 賃金上昇率は2019年に5.1%, 2020年に5.3%になると予測している。

#### ハノーヴァー・メッセへのポーランド出展【25日】

シドゥウォ首相は、モラヴィエツキ副首相兼財務・開発大臣、ゴヴィン副首相兼科学・高等教育大

臣と共にハノーヴァー・メッセ産業見本市開会式に出席した。ポーランドからは200社以上が3Dプリンター、産業用ロボット等を出展している。首相は、政府は経済と発展に力を入れており、科学とビジネスの協力は責任ある成長戦略の目的であると述べている。

### マクロ経済動向・統計

#### S&Pが経済成長率予測を上方修正【20日】

格付機関S&Pは、ポーランドの2017年の経済成長率見通しを1月の3.2%から3.3%に、財政赤字見通しを対GDP比3.1%から3.0%に修正した。2018年と2019年については経済成長率を3.1%と3.0%、財政赤字を対GDP比3.0%と2.9%との見通しを示した。物価上昇率は、2017年見通しを1.5%から1.8%に修正し、2018年と2019年は2.0%と2.1%に据え置いた。また、ポーランドの外貨建て長期ソブリン格付けを「BBB+」に、自国通貨建て短期ソブリン格付けを「A- / A-2」に維持した。

#### ムーディーズが経済成長率予測を上方修正【25

#### 日】

格付機関ムーディーズは、ポーランドの2017年の経済成長率見通しを2.9%から3.2%に、2018年は2.8%から3.1%に上方修正した。民間消費の伸びに加え、EU基金を用いた投資の伸びが予測されるとしている。物価上昇率は、2017年末には2.9%、2018年末には2.5%と予測している。

#### 3月の失業率【26日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の失業率は8.1%で、2月の8.5%より改善した。登録失業者数は約132万人となった。

### ポーランド産業動向

#### 首相がPZU社を監督【25日】

シドゥウォ首相は、国内最大の保険会社PZUを自ら監督すると発表した。1月の国有財産解体後、同社は経済開発省の監督下にあったが、同首相

は、同社の経営にとって首相直轄がより良い結果となると述べている。

### エネルギー・環境

#### Tauron・Azoty が石炭ガス化設備導入に合意【20日】

国有エネルギー会社 Tauron と同化学会社 Azoty グループは、4-6億ユーロ規模の石炭ガス化設備を南部 Kedzierzyn-Kozle プラントに建設することに合意した。2021年から2022年にかけての稼働を目指すとしている。署名式典にはモラヴィエツキ副首相及びトフジェフスキ・エネルギー大臣も同席して行われ、欧州で先進的な技術導入への期待が述べられた。

#### 政府エネルギー計画は秋頃発表か【25日】

トビショフスキ・エネルギー副大臣は、同省主催の原子力教育フォーラムにおいて、政府のエネルギー計画は遅くとも今年の秋頃に準備が出来る見込と述べた。同計画には「歴史的な」解決先を盛り込む事から、非常に長く困難なプロセスを経ていると述べた。また、欧州委員会とのウィンターパッケージに関する議論の動向も不明であり、最終的な内容は分からないとも述べた。

### 大使館からのお知らせ

#### 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞

在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

### **パスポートダウンロード申請書のご案内**

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

### **【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00 , E メール：[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp), 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】日本の浮世絵展「女：美・力・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】**

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示されています。

開催場所：クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

### **【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】**

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィッチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

### **【開催中】ポフシン植物園における日本月間【4月6日(木)～5月7日(金)】**

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による「ポフシン植物園における日本月間」が開催中です。入場料：10PLN。

プログラム：

4月6日～5月3日：ルドミワ・コツ氏及びロムアルド・ザビエルスキ氏による日本の写真展

4月1日～5月7日：スタニスワフ・ロシュコフスキ氏による写真展「桜と日本」

5月6日～7日：観賞用日本鶏の展示会

開催場所：ワルシャワ市（マゾフシェ県）、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター、ul. Prawdziwka 2

詳細：<http://www.ogrod-powsin.pl/dzialalnosc-kulturalna/plan-wystaw-i-wydarzen-kulturalnych-2017>

### **【開催中】全ポーランド美術コンクール展【4月20日(木)～5月10日(水)】**

ティヒ市にて、ティヒ市第2青少年文化会館主催による全ポーランド美術コンクール展「マンガファクトリー」が開催中です。

開催場所: シロンスク県, ティヒ市, ul. Elfów 56

詳細: <http://www.mdk2tychy.pl/>

**【開催中】金継ぎ展【4月24日(月)～5月8日(月)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、金継ぎで修復された器の展示が開催中です。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【予定】映画上映会: 君の名は【4月28日(金)】**

ビドゴシチ市の国際アニメ映画祭「アニモツィエ」にて、日本のアニメ「君の名は」(2016年, 新海誠監督)が上映されます。入場料: 15PLN。

開催場所: クヤヴィ=ポモージェ県西部県, ビドゴシチ市, Miejskie Centrum Kultury, ul. Marcinkowskiego 12-14

詳細: <https://www.facebook.com/events/165215017338416/>

**【予定】学会「東と西の間で: 文化・哲学・芸術・スポーツの一面としての伝統武道」及び空手大会【4月28日(金)～30日(日)】**

グダンスク市にて、ポーランド伝統空手連盟グダンスク支部主催による学会「東と西の間で: 文化・哲学・芸術・スポーツの一面としての伝統武道」及び伝統空手リーグ大会、日本に関する講義などが予定されています。

開催場所: ポモージェ県, グダンスク市, スポーツ大学メインホール, ul. Kazimierza Górskiego 1

詳細:

<http://www.karate.pomorze.pl/aktualnosci/ogolnopolska-konferencja-naukowa-miedzy-wschodem-i-zachodem/>

**【予定】日本フェスティバル 花見2017【5月7日(日) 10時～17時】**

ワルシャワ市にて、「ラクガク」日本語学校主催による『日本フェスティバル 花見2017』が開催されます。

お花見のほか、武道デモンストレーション、伝統音楽、日本舞踊、様々なワークショップ、コンクール等が予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, 「イスクラ」スポーツクラブ公園, ul. Wawelska 5

詳細: <http://www.rakugaku.pl/hanami2017.html>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)